

	制度名	概要	要件等	締切	リンク	リンク先
相談受付中	R7年度CO ₂ ゼロエミッション技術支援事業	【趣旨】 農業分野における脱炭素化（温暖化防止）や化学肥料・化学合成農薬等の低減を一層推進していくため、バイオ炭を土壌に施用することで、土壌改良とともに土壌炭素貯留量を増加させ、間接的に大気中のCO₂削減に貢献する取組に対し支援します。 【事業内容】 バイオ炭の施用に係る経費に対して補助を行います。	【実施主体】 バイオ炭を新規または拡大導入で1ha以上施用する個人または団体 【補助要件】 「エコファーマー」の認定、「ちばエコ農業」栽培計画書の登録、「有機JAS認定」又は「みどり認定（土づくり及び化学肥料・化学農薬減少）」のいずれかを受けた（又は事業完了時までに受けることが見込まれる）農業者（団体を含む）であり、次の要件を両方満たすもの。 ①みどり認定（バイオ炭施用）を受けた、又は事業完了時まで認定を受けることが見込まれること ②バイオ炭施用面積が1ha以上であること 【補助対象/補助額】 「バイオ炭施用に係る経費3,000円/10a以内（定額）」	2025年5月25日	https://www.pref.chiba.lg.jp/annou/co2zero.html	千葉県HP (2025年4月21日更新予定)
相談受付中	令和7年度農業雇用条件改善推進事業（1次）	【趣旨】 雇用労働力を確保し経営発展を図ろうとする農業経営体による雇用条件等の整備及び改善の取組を支援します。	【実施主体】 認定農業者 【補助要件】 事業1：雇用条件の整備 ①就業規則及び②労働保険のいずれか一方若しくは両方の雇用条件が整備されていない事業実施主体が、①及び②の両方を整備する取組を支援します。 事業2：雇用条件等の改善 事業1の雇用条件が既に整備されている事業実施主体が、専門家の助言を受けて行う就業規則又は作業環境のいずれか一方又は両方を改善する取組を支援します。 【補助額】 20万円（定額）	2025年5月26日	https://www.pref.chiba.lg.jp/ninai/boshuu/2024/koyoiyoken.html	千葉県HP (2025年4月28日更新予定)
相談受付中	令和7年度施設園芸セーフティネット構築事業	【趣旨】 農業者と国の拠出により資金を造成し、施設園芸用の燃料価格が一定基準以上に上昇した場合に補填金を交付するセーフティネットの構築を支援します。	【加入要件】 施設園芸農家3戸以上又は農業従事者5名以上で構成する農業者団体等 3年間で燃料使用量を15%以上削減する計画の作成 【対象期間】 10月から翌6月までの間から選択 【対象燃料】 施設園芸の用に供するA重油、灯油、LPガス、KNG	2025年6月23日	https://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/kinyuu/seisanhanbai.html#nenyu	千葉県HP

	制度名	概要	要件等	締切	リンク	リンク先
相談受付中	有機JAS認証・GAP等認証取得等支援事業	【趣旨】 農産物等の輸出にあたって、取引要件として求められている、複数の国と同等性相互認証を有する有機JAS認証や、GFSIの承認を得たGAP認証など、国際的に通用する企画・認証の取得認証取得等の取組を支援する。 【支援内容】 ①有機JAS認証の取得 ・有機農畜産物・加工等の輸出に向けて新たに必要となる有機JAS認証の取得 ②商談 ・日本国内外で行われる商談展示会への出店費用や展示商談会等の場を活用した海外バイヤーや輸出関連事業者との商談に関する費用（旅費等） ③商品開発 ・輸出口け有機農畜産物等の試作品の開発に必要な費用（原材料費、消耗品費、旅費、謝金等） ④機械等のリース導入 ・輸出口け有機農畜産物等に係る有機JAS認証の取得及び有機農畜産物の生産拡大並びに有機加工食品の開発のために必要となる機械等のリース方式による導入	事業の内容につきましては事業ごとに異なりますので、補助事業実施団体のHP等をご覧ください。	2025年11月4日	https://myfarm.co.jp/export-organic-gap	株式会社マイファームHP
相談受付中	令和7年度堆肥等利用促進事業	【趣旨】 産地等への堆肥を原料とした肥料等の本格導入に向け、農業者の組織する団体等による試行導入の取組を支援します。	【事業主体】 ペレット堆肥又は家畜ふん堆肥を原料とした肥料の試験栽培に取り組む農業者団体等 【補助対象】 試験栽培で用いるペレット堆肥または家畜ふん堆肥を原料とした肥料の購入に係る経費 【補助率・補助上限額】 1/3以内・1団体当たり20万円	2025年6月3日	https://www.pref.chiba.lg.jp/annou/taihito.html	千葉県HP (5月9日更新予定)
相談受付中	園芸産地における事業継続強化対策	【趣旨】 近年激甚化する風水害等の自然災害への対策を加速化するため、令和2年12月11日に、達成すべき中長期的な目標、加速化・深化すべき対策の内容等を定めた「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が閣議決定されました。 本対策に基づき、自然災害発生に予め備え、災害に強い産地を形成するため、園芸産地における非常時の対応能力向上に向けた複数農業者による事業継続計画（BCP）の策定を支援します。 また、BCPの実行に必要な体制整備及び非常時の復旧の取組実証等を支援します。 【事業内容と補助対象経費】 1. 園芸産地における事業継続計画の検討及び策定等 →会場借上費、外部講師派遣費、資料等印刷費、謝金等 2. 園芸産地における事業継続計画の実践 (1) 自力施工等の技能習得、災害復旧の実証 →研修の受講費、会場借上費、災害復旧事象に係る経費等 (2) 既存ハウスの補強等の被害防止対策 →資材費、業者が施工する場合の経費等	【取組主体】 農業者の組織する団体 ほか 【補助対象経費】 (1) 備品費、会場借料、通信運搬費、謝金等 【その他】 事業要望にあたっては、事業の計画書、見積書、単価表などの積算根拠資料が必要です。	2025年6月11日	https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/engei/sisetsu/saigaitaisaku.html#BCPiigyou	農林水産省HP

	制度名	概要	要件等	締切	リンク	リンク先
相談受付中	スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート緊急対策事業	【趣旨】 農業者の高齢化・減少が進む中においても農業の持続的な発展を図るため、スマート農業技術の現場導入と生産・流通・販売方式の転換、これを支える農業支援サービス事業体の育成や活動の促進等の取組を総合的に支援します。 【事業内容】 サービス事業体の新規事業立ち上げ当初のビジネス確立に向け、ニーズ調査、サービス提供の試行・改良等のほか、サービスの提供に必要なスマート農業機械等の導入を支援します。	【事業実施主体】 農業支援サービス事業体（受委託契約のもとで農業者の行う農作業代行の取組や、農業者が使用するスマート農業機械等をレンタル等（販売は除く）によって提供する取組等を行う者のこと）（以下、サービス事業体という。） 【主な要件】 概ね都道府県域でサービス事業を提供するサービス事業体（北海道内で取り組むサービス事業体にあつては、概ね北海道内の総合振興局・振興局域でサービスを提供するサービス事業体） 【補助率、補助上限】 ○農業支援サービスの立上げ支援のうち農業支援サービス事業育成対策（地域型サービス支援タイプ） 定額（1事業実施主体当たり1,500万円を上限とする。） ○農業支援サービスの立上げ支援のうちスマート農業機械等導入支援（地域型サービス支援タイプ） 1/2以内（1事業実施主体当たりの上限額は1,500万円とする。ただし、スマート農業機械を導入する場合は3,000万円とする。）	2025年6月18日	https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousan/250117_140-1.html	農林水産省HP
相談受付中	食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業	【趣旨】 本事業では、農林水産物・食品の輸出拡大を図るため、輸出向けHACCP等の認定・認証の取得による輸出先国の規制等への対応に必要な施設や機器の整備を支援します。 【事業内容】 ①施設等整備事業 輸出国等の政府機関が定める、HACCP等の要件に適合する施設の認定、ISO22000、FSSC22000、JFS-C、有機JAS等の認証取得に必要な施設・設備の整備（新設、増築、改修）及び機器の整備 ②効果促進事業 認定・認証取得に向けたコンサルティング費や取得後の適切な管理・運用を行うための人材育成に係る研修費等	【事業主体】 食品製造事業者、食品流通事業者、中間加工事業者等 【交付率】 1/2以内 【交付額】 1事業当たり以下のとおり 令和6年度補正事業：上限5億円、下限250万円 令和7年度当初事業：上限1億円（下限なし）	2025年5月23日	https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/gfp/haccp.html https://www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/bosyu/2025/export/haccphard-r6h2kai-r7.html	農林水産省HP 千葉県HP（近日公開予定）